

8. 独立行政法人 建築研究所講演会

期 間 : 平成24年3月9日(金) 10時30分～16時30分
 会 場 : 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11階)
 主 催 : 独立行政法人 建築研究所
 聴講者数 : 910名

プログラム

- 理事長挨拶 10:35～ 建築研究所 理事長 村上 周三
- 地震動による建築物被害から見た耐震設計の現状と今後の課題 10:40～ 構造研究グループ長 飯場 正紀
- 地震による天井の脱落被害および耐震対策 11:10～ 建築生産研究グループ 主任研究員 脇山 善夫
- 被災者に対する住宅供給の現状と課題 11:40～ 住宅・都市研究グループ 研究員 米野 史健
- 12:10～ パネル展示の紹介
- 12:20～ 昼休み パネル展示
- 国土交通省の東日本大震災への取り組み 13:30～ 国土交通省 住宅局 審議官 井上 俊之
- 津波避難ビルの構造設計法 13:45～ 構造研究グループ 上席研究員 福山 洋
- 長周期地震動と建物応答 14:15～ 構造研究グループ 主席研究員 大川 出
- 14:45～ 休憩
- 特別講演『我が国の耐震工学の歩みと展望』 15:00～ 東京大学名誉教授・財団法人日本建築防災協会
理事長 岡田 恒男
- 16:30 開会

パネル展示 コアタイム (12:20～13:30)

- | | |
|----------------------------------------|------------------------|
| 東日本大震災による津波浸水域における建築物の被害 | 構造研究グループ 研究員 壁谷澤寿一 |
| 東日本大震災における津波火災・地震火災 | 防火研究グループ 上席研究員 林 吉彦 |
| 地域の住宅建設を支える地元大工による応急仮設住宅建設と地域型復興住宅に向けて | 住宅・都市研究グループ 上席研究員 岩田 司 |
| 東日本大震災における暮らしを支える施設の被災状況 | 住宅・都市研究グループ 上席研究員 石井儀光 |
| 津波波源と津波防災コースにおける被災地研修 | 国際地震工学センター 主任研究員 藤井雄士郎 |
| 業務用建築設備のエネルギー消費実態に関する研究 | 環境研究グループ 研究員 宮田征門 |
| 空気式集熱ソーラーシステムの効果検証 | 環境研究グループ 研究員 赤嶺嘉彦 |
| 大規模木質建築物の普及・防火基準整備に向けた防耐火実験 | 防火研究グループ 研究員 鈴木淳一 |
| 経年後の成形板に対する下地調整におけるアスベスト繊維の飛散性の検証 | 材料研究グループ 主任研究員 古賀純子 |
| 世界各国の免震建築物の現状と設計法の国際比較 | 国際地震工学センター 上席研究員 斉藤大樹 |